



さいたま市 20周年

CONTENTS

- ① イベント
- ② コラム
- ③ ご案内

国際ふれあいフェア

ふらす

毎年10月上旬に開催されている「国際ふれあいフェア」は、新型コロナウイルス感染症の現状を考慮し中止となりました。

今年度はYouTube動画配信による名場面紹介と、これまでの活動及びさいたま市海外姉妹・友好都市の写真

等の展示が10月11日から5日間コンナレー9階にて開催されました。展示スペースには、姉妹・友好都市のグッズや衣装などもたくさんあり、海外渡航経験のある市民の方々が懐かしそうに展示品を見ながらアメリカやカナダのお話をされていました。



▲実行委員のみなさま



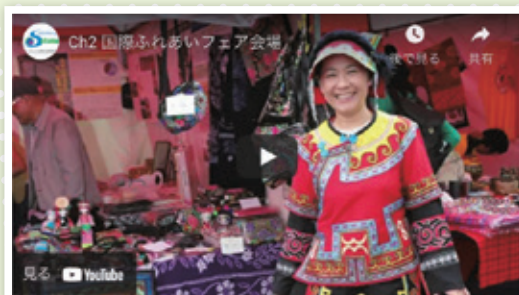
▲姉妹都市のグッズも展示



▲期間中300人近くの方が来場しました

動画では、ステージパフォーマンスの他に、イベント時のボランティア活動の様子や、姉妹・友好都市のプロモーションビデオも見ることができ、ボランティアや留学等を考えている方にもおすすめの内容です。

ぜひこちらのQRコードからご覧ください。



▲WEBでも公開中



スポーツ少年団オンライン交流会

～さいたま市の姉妹都市メキシコトルーカ市とアメリカ リッチモンド市とのオンライン交流会が開催されました～

》第1弾 さいたまとトルーカの日墨間



8月21日(土)、日本時間午前9時(トルーカ時間8月20日午後7時)から、オンラインによる、さいたま・トルーカスポーツ少年団の交流会が開催されました。

14時間の時差があるにもかかわらず、大勢の人たちが自宅や外出先の車からも参加してくれました。

双方の代表、来賓のご挨拶のあと、スペイン語、日本語を交えた自己紹介で、ホストファミリーとの再会も実現できました。

画面の背景には、参加者が用意したメキシコ国旗、地図、日の丸、日本人形等が映り、交流の絆の強い意思を感じられました。

「あなたの大事な宝物は、何ですか？ 持って来て、画面の前で見せて下さい。」というゲームでは、ペットや過去の交流の思い出の品々が披露されました。

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響で、2年間訪問交流は全くできなくなっていますが、成長された過去の来訪選手

たちも参加され、42年間の姉妹都市交流の思い出、在墨埼玉県人会長のお話もいただき、たいへん有意義な交流会となりました。

最後は参加者全員の写真撮影で、にぎやかに閉会となりました。



》第2弾 さいたまとリッチモンドの日米間



9月11日(土)、日本時間午前9時(リッチモンド時間9月10日午後8時)から、オンラインによる、さいたま・リッチモンド リトルリーグ少年団の交流会が開催されました。夏時間のため、東部時間のバージニア州リッチモンドとは13時間の時差がありますが、日米合わせて30名以上の参加がありました。

日本人は、英語を流ちょうに使うって挨拶されている参加者が多く見受けられました。リッチモンドの参加者は、最初に「コンニチワ、ワタシハ …(名前) デス。」と自己紹介されていました。さすが野球のオンライン交流会だけに、画面の背景には、日本の選手はユニフォームの名前と背番号が見えるように、壁にかけて自己PRしていました。米国からは、記念のさいたまの野球帽姿が複数見られ、なぜかSAITAMAでないTOKYOのTシャツ姿の方も見られました。

野球の交流会は1994年から27年間続いています。昨年と今年は2回連続コロナのため中止になりました。米国からの参加者からは、「来年こそ再開して欲しい」「来年は米国が勝つ!」と盛り上げて

いました。中には、先の東京オリンピックでの侍ジャパンの金メダルを称賛し、次回は「米国が勝つ」だろうと、同様に宣言している別の米国の参加者もいました。米国チームの中には、ある年は次男、別の年は三男と一緒に来日した思い出を語る父親もいて、野球を愛する人達の気持ちの良い雰囲気が伝わりました。最後は参加者全員の写真撮影で、にぎやかに終了しました。



大好き!

SAITAMA さいたま



モハマド ハフィズ ヒルマンさん(マレーシア)

マレーシアからの国費留学生モハマド ハフィズ ヒルマンさんにお話を伺いました。

○さいたま市に来たきっかけは?

兄が日本のアニメやドラマをよく見ていたので、私も自然に日本語に興味を持ち、大好きになったからです。高校を卒業後、3年間日本語で化学、数学等エンジニアリング関係を学び、先生の勧めで芝浦工業大学に進学し、現在5年目です。

○さいたま市での生活はどうか?

母国でイメージしていたのとはほぼ同じです。大学の寮に住んでいますが、快適な住環境でとてもいい印象を持っています。日本人はシャイだと思っていましたが、想像以上で最初は友達ができませんでした。6カ月後に研究室で学ぶようになってからたくさん友達が出来て研究生活を楽しんでいます。

○日本の好きな食べ物は?

和菓子(小豆のあんこ入り)が大好きです。納豆も母国

のドリアンと同じように臭いが強いですがよく食べます。また、てんぷら、お茶づけが好きです。外食もしますが、寮で炊事ができますので、健康に良い食材で自炊しています。今、ハマっているのは野菜とチキンの炒め物です。美味しいですよ。

○さいたま市の好きなおところは?

さいたま市は東京ほどの大都市ではありませんが、便利な生活環境で、自然も豊かで、とても気に入っています。それに大きな災害(洪水・土砂崩れ等)が少ない、安心・安全なおところがいいです!

○将来の夢は?

大学で研究しているのは、自動車の制御関係の先端技術です。今もそうですが、YouTubeで最新技術や日本の文化・伝統などを母国に向けて発信し貢献したいです。

取材中こちらの質問に凛とした態度で、対応される様子にとっても聡明な方だと感じ、これからの活躍が楽しみになりました。



▲修士課程を卒業して(ヒルマンさんは右)



▲研究室のプロジェクトで友達と(ヒルマンさんは右)



多くの事業で活躍されている 内田千佳さんのお話しです。

私が国際交流センターでボランティアを始めたきっかけは、5年前に語学講座を受講したことでした。そこで様々な国際交流のイベントが行われていることを知り、ワクワクしながらボランティア事業に携わり、参加し、今ではIEC News、子育て支援、ユース国際ボランティア、語学講座のスタッフをしています。ユースのイベントでは自分の子供と同世代の学生参加者の活力をもらい、子育て支援では、赤ちゃんに触れあうことで懐かしさを感じています。語学講座では色々な



▲語学講座で出会ったポール先生の英会話は今でも継続(内田さんは左から2番目)

国の講師の講座を見学することで新しい発見があったり、IEC News では外国の文化に触れたり、各事業のボランティア

スタッフと関わりを持つことで刺激をもらっています。好奇心旺盛で新しいことに挑戦し、人と会うのが大好きな私にとってボランティアはとても居心地の良いものでした。広報の仕事を一度も経験したことがない私でも、記事を書いたり、ポスターを製作したり、自分なりに調べながら実行していくことで大きな自信ができました。今では個人的に、娘の所属するガールスカウトの役員と中学のPTA 役員をし、書類作成や販促物製作などボランティアで培った知識を他の場所でも活用し、様々な経験をさせていただいています。

IEC Newsでは、スタッフを随時募集しています。好奇心が旺盛で、人の話を聞くのが好きな方をお待ちしています。



▲「はじめましての会」にて(内田さんは左から2番目)

多言語生活相談

国際交流センターでは、ボランティアスタッフによる外国人のための簡易生活相談を行っています。

対応可能言語は、英語、中国語、韓国・朝鮮語です。

※各言語の相談時間は以下の通りです。

中国語

担当者 (Ms.) 印 志紅(イン シコウ) <中国・上海出身>

日時 毎週火曜日 9:00~12:00/13:00~15:00(受付は14:00まで) ※祝日休

英語

担当者 (Mr.) LEANDER S. HUGHES (リアンダー ヒューズ) <アメリカ・ミネソタ州出身>

日時 毎週水曜日 9:00~12:30/13:00~14:30(受付は14:00まで) ※祝日休

韓国・朝鮮語

担当者 (Ms.) 林 景禧(リン キョンヒ) <韓国・昌原出身>

日時 毎週木曜日 9:00~12:00/13:00~15:00(受付は14:00まで) ※祝日休

※上記の曜日、時間帯以外はすべて日本語での対応となります。

簡易生活相談(基本的には日本語での対応となります)

担当者 市民ボランティア <日替わりで対応>

詳細は各窓口にお問い合わせください。

【生活相談窓口】TEL 048-887-1506

FAX 048-887-1505



おしゃべりサロン 参加者の皆様へ



現在おしゃべりサロンを一部再開しました。

以下のことに留意いただき参加をお願いします。

- 体調が少しでもすぐれないと思われる方は、参加をご遠慮ください。(喉の痛み、咳、発熱、倦怠感、腹痛等)
- 事前にご自宅で検温
- 筆記用具の持参
- マスクの着用
- こまめに手指の消毒
- 参加記録確認書の記入(参加ごと、毎回)
- 使用された椅子、机等を個々に消毒していただきますようお願いいたします。



1月以降のスケジュールは
HPをご覧ください。



詳細はこちら ▶

新型コロナウイルスの影響で予定が変更することがございます。

令和4年度・5年度 国際交流センター『事業スタッフ』新規募集

私たちと一緒に国際交流センターの事業を盛り上げませんか？

ボランティアとして国際交流・外国人支援にご興味、ご関心があり、各事業のイベントに参加するだけでなく、一緒に国際交流センター事業の企画から参画し、運営をしていただける方を募集します。

●国際交流・多文化共生(6事業)

*おしゃべりサロン事業 *日本語国際センター交流会事業 *はじめましての会事業

*着物着付け体験会事業 *ホームビジット事業 *姉妹・友好都市交流事業

●市民啓発(5事業)

*ミニ講座・パネル展示事業 *日本語ボランティア養成事業 *語学講座開催事業

*ユース国際ボランティア事業 *ボランティア養成講座事業

●外国人支援(4事業)

*簡易生活相談事業 *日本語支援事業(にほんごのへや)

*子育て支援事業 *多言語生活情報誌「ぷらら」発行事業

●広報宣伝(1事業)

*広報(IEC News・ぷららとサロン予定表の編集・発行)

詳しくはHPを
ご覧ください。



公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL https://www.stib.jp/kokusai

